

科目名	科学技術英語 II Scientific and Technical English II	科目コード	41700
-----	--	-------	-------

学科名・学年	物質工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	赤澤 真一（物質工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義28，演習0，実験0，その他2】
教科書	資料配付
補助教材	Basic Grammar in Use Student's Book with Answers and CD-ROM: Self-study Reference and Practice for Students of North American English (Cambridge university press)
参考書	総合英語 Forest（桐原書店）（文法書を持っていない学生は購入を強く推奨）． 英文法のトリセツ（アルク）（TOEIC450点以下推奨）

【A. 科目の概要と関連性】

情報のグローバル化とともに、科学技術関係のテキストや論文は国際語としての英語が使用されており、英語力の向上は必須である。昨今はプレゼンテーションスキルも求められることから、論文の表現だけでなく、プレゼンテーションにおけるキーフレーズや発表法を学ぶ。本講義では、英語におけるプレゼンテーションに重きをおいており、実際に講義の最後に英語によるプレゼンテーションを全員が実施する。そのため、毎回1分間英会話をグループで実施し、スクリプト作成や発表に慣れていく。

○関連する科目：科学技術英語Ⅰ（4年次履修）

【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
① 英語と英文法の復習を行い、科学英語の基礎を身につける。	20%	(d1)
② 科学技術英語特有の表現を理解する。	40%	(d1)
③ 英語によるプレゼンテーション法を理解する。	40%	(d1)

【C. 履修上の注意】

一般の英語の知識は不可欠である。文法は各自復習しておく事。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（30%）【内訳：前期中間30】
- 課題（20%）
- ショートトーク・グループワーク（20%）
- プレゼンテーション（25%）
- その他（5%。講義への参加度など）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

週	内容	備考
1	講義の説明, なぜ英語を勉強するのか?	グループワーク
2	文法復習 (課題解説) 1	課題 (文法 5 点)
3	文法復習 (課題解説) 2	課題
4	専門英語表現 1	課題 (グラフ説明 3 点)
5	専門英語表現 2, 専門英語を用いたグラフなどの解説 (実践)	プレゼン実践 1
6	英語論文の読み方と書き方	
7	中間試験	試験時間 : 50 分
8	プレゼンテーションとは? 組み立て方とパワーポイントの活用	課題 (プレゼン修正 5 点)
9	英語でのプレゼンテーション法~キーフレーズ~	
10	TED, TED-Ed, YouTube から学ぶプレゼンテーション 1	課題
11	TED, TED-Ed, YouTube から学ぶプレゼンテーション 1, プレゼンテーション課題設定	課題
12	プレゼンテーション準備 1	
13	プレゼンテーション準備 2	
14	プレゼンテーション発表 1	
—		
15	プレゼンテーション発表 2	

*グループワークは適宜有. 講義の始めに毎回 1 分間英語で自己紹介, 出来事紹介, サイエンストピック紹介等を行う.